

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2009-240204(P2009-240204A)
 【公開日】平成21年10月22日(2009.10.22)
 【年通号数】公開・登録公報2009-042
 【出願番号】特願2008-89815(P2008-89815)
 【国際特許分類】

A 0 1 C 11/02 (2006.01)

【F I】

A 0 1 C 11/02 3 4 1
 A 0 1 C 11/02 3 4 2 C
 A 0 1 C 11/02 3 2 2 C
 A 0 1 C 11/02 3 3 0 M

【手続補正書】
 【提出日】平成24年1月30日(2012.1.30)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

後輪(11)によって水田走行が可能に支持された機体(2)と、この機体(2)に搭載されて水田作業を行う作業装置(4)と、この作業装置(4)による作業位置(P)の走行前方側に配置されて圃場を均平整地するフロート(56)とを備え、機体外側に張り出して次の走行位置をマークするアームからなる線引きマーカを左右の機体側部に個別動作可能に設けた水田作業機において、

上記フロート(56)の側方位置には、その前端位置の前後に亘って延びる防波板(53L, 53R)を機体の左右に設け、この左右の防波板(53L, 53R)は、それぞれを防波位置と収納位置との2つの位置に切替え可能に支持し、左右で互いに異なる位置に保持して機体の旋回動作の都度、それぞれの位置を切替え制御することを特徴とする水田作業機。

【請求項2】

線引きマーカの線引き動作に連動してその側の防波板(53L, 53R)を収納位置に切替え制御することを特徴とする請求項1記載の水田作業機。

【請求項3】

左右の線引きマーカを共に張り出すか又は共に収納すると、左右の防波板(53L, 53R)を共に収納位置に切り替える制御をすることを特徴とする請求項1に記載の水田作業機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0005】

請求項1に係る発明は、後輪によって水田走行が可能に支持された機体と、この機体に搭載されて水田作業を行う作業装置と、この作業装置による作業位置の走行前方側に配置

されて圃場を均平整地するフロートとを備え、機体外側に張り出して次の走行位置をマークするアームからなる線引きマーカを左右の機体側部に個別動作可能に設けた水田作業機において、上記フロートの側方位置には、その前端位置の前後に亘って延びる防波板を機体の左右に設け、この左右の防波板は、それぞれを防波位置と収納位置との2つの位置に切替え可能に支持し、左右で互いに異なる位置に保持して機体の旋回動作の都度、それぞれの位置を切替え制御することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項2に係る発明は、請求項1の構成において、線引きマーカの線引き動作に連動してその側の防波板を収納位置に切替え制御することを特徴とする。

上記線引きマーカと連動して防波板の動作を切替えることにより、特段の切替え制御を要することなく、作業済み領域の側と対応した確実な防波動作が可能となる。

請求項3に係る発明は、請求項1の構成において、左右の線引きマーカを共に張り出すか又は共に収納すると、左右の防波板を共に収納位置に切り替える制御をすることを特徴とする。